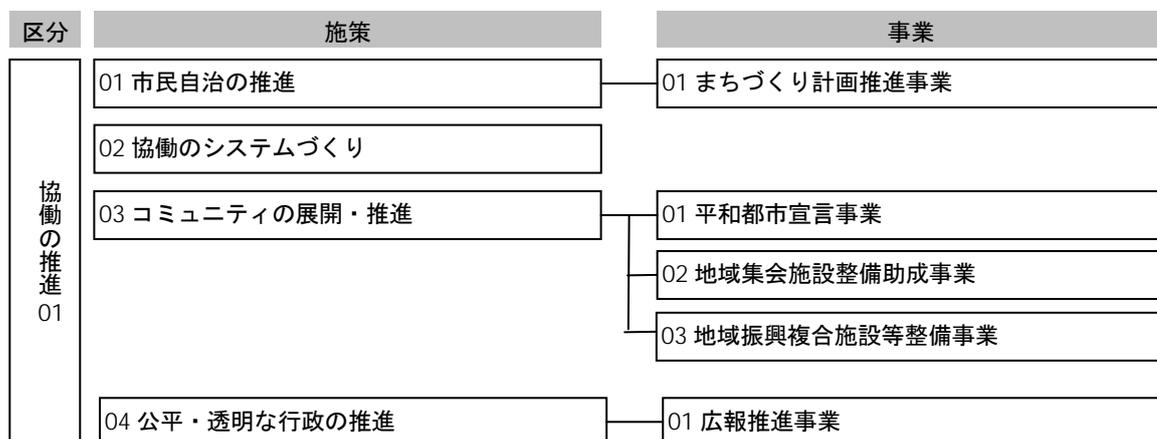


1 協働の推進

施策の基本的考え方

- 市民参加の促進に向け、自治意識の高揚、市民参加機会・社会貢献活動機会づくりを推進し、市民による自治を図ります。
- 市民と行政とのパートナーシップ*を発揮するために、協働する社会のシステムの構築を図ります。
- 市民の手によるまちづくりを目標に、環境・文化・福祉・自然愛護・市民憲章や平和運動の推進など、広範な市民運動を支援します。
- コミュニティ*施設の自主管理、自主運営などから住民の自治意識の高揚及び連帯感の醸成を図ります。なお、新設については建設要件が整い次第、建設計画を推進します。
- 行政の説明責任の向上を図り、質の高い行政情報の提供をいたします。
- 各種媒体を活用した行政情報の積極的な発信に努め、市民参加の促進を図ります。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 市民自治の推進

■まちづくり計画推進事業 【事業No.06010101】	担当部課係名 市民生活部	市民対話課	ダイヤル 237-5298
		地域振興係	

事業概要

- まちづくりの主旨に基づく地区の将来像の実現
- まちづくり計画策定、事業推進への地区住民の参画

現況と課題

- 各地区において、地域のニーズに即した実効性のあるまちづくり事業への取り組みがなされてきているが、活動が積極的な地区との温度差がみられる。

今後の事業展開

- 「甲府市 21 世紀のまちづくり協議会」と各地区が実施している事業を検証し、今後のまちづくり協働事業に対して推進のあり方を決定し、各地区の 21 世紀のまちづくり計画の推進が図られるよう、独自性のある効果的なまちづくり協働事業の支援を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	目標値 (H22~24)		
まちづくり計画推進事業	31 22	55	55	55	55	55		
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)		
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度			
	7,965		7,904	7,904	7,904	23,712		

03 コミュニティの展開・推進

■平和都市宣言事業 【事業No.06010301】	担当部課係名 市民生活部	総務課	ダイヤル 237-5294
		庶務係	

事業概要

- 戦争の惨禍が風化されつつある中で、平和の大切さ、命の尊さを次の世代へ語り継ぐとともに、人類共通の願いである恒久平和を市民と行政が、それぞれの立場と役割を持って、恒常的・継続的に推進することにより、市民の「平和意識」の高揚が図られる。

現況と課題

- 本事業の推進には、その主旨からも、中学生及び一般市民代表の「広島平和記念式典派遣」が最も重要であると考えられるが、経費抑制の流れの中で、派遣枠の確保が難しい。

今後の事業展開

- 他の自治体や関係諸団体との連携を一層深め、情報の共有を図るとともに、アンケート調査を含め、市民の声によく耳を傾け、より効果的な事業の推進を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	目標値合計 (H22~24)		
平和ポスター応募作品数	580	668	500	500	500	1,500		
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)		
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度			
	2,602		2,539	2,539	2,539	7,617		

■地域集会施設整備助成事業 【事業No.06010302】	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

事業概要

- 住民の集会活動を容易にし、地域の発展向上を図る

現況と課題

- 次年度、建設計画がある自治会より調査票を取りまとめ、その調査結果に基づき来年度の予算要求を行う。調査結果により実施計画予算枠内では納まらないことも想定される。

今後の事業展開

- 現状の補助金交付要綱に基づき継続推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 24 年度		
助成対象棟数	4	2	5	5	5		15	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H22~24)	
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度			
	4,300		17,066	12,400	12,400		41,866	

■地域振興複合施設等整備事業 【事業No.06010303】	担当部課係名	企画部	南北地域振興課	ダイヤル	237-1173
			振興係		

事業概要

- 平成 18 年 3 月の合併後に取得した甲府南インターチェンジ入口の「風土記の丘農産物直売所」に隣接する土地と、農産物直売所用地を含めた約 1.36ha の土地について、新市としての一体感の醸成と新たな交流の場として、市民に必要とされる複合的な機能を有する施設を整備する。

現況と課題

- 整備する地域振興複合施設については、どのような施設とするか決定されていないことから、市民に望まれる施設とするため、意向確認のためのアンケート調査を平成 22 年 1 月に実施した。このアンケート結果や検討委員会による検討結果等を踏まえ、整備する施設の基本的な方向性を定めるとともに、市民への周知と理解を求めて行く必要がある。

今後の事業展開

- 整備する施設の基本的な方向性については、今後、パブリックコメントを実施する中で意見集約を図り、基本構想へ反映させ平成 22 年度中の作成を目指す。また、基本計画作成のための基礎調査の実施や、検討委員会組織での施設機能の検討などを踏まえ、施設機能を決定していくとともに、中道地域審議会への情報提供や市民への周知を図りながら施設整備を進めていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 24 年度		
①基本構想作成 ②基本計画作成 ③実施設計書作成(%)			①100	②100	③100		①100、②100、③100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H22~24)	
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度			
			2,385	5,400	5,000		12,785	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

04 公平・透明な行政の推進

■広報推進事業 【事業No.06010401】	担当部課係名	市長室	広報課	ダイヤル	237-5314
			広報係・政策情報係		

事業概要

- 広報誌をはじめ、ホームページ、テレビ、ラジオ、新聞、タウン誌などのあらゆる媒体を活用した広報活動を通じて、市民が市政に関心と参画意欲を持ってもらえるよう、的確にわかりやすく伝えることに努める。

現況と課題

- とかく硬いイメージとしてとらえられがちな行政からの情報をわかりやすく伝えるとともに、タイムリーな情報発信が求められる。平成8年に開設したホームページは、必要な見直しを随時行ってきたが、よりわかりやすい情報発信・情報検索の観点から内容の検討が必要である。

今後の事業展開

- 施策や事業などをより多くの市民に理解してもらうために、各種媒体を効果的に活用した広報活動に努める。
- わかりやすく、親しみやすいホームページを目指し、平成23年度にホームページの全面リニューアルを行う。

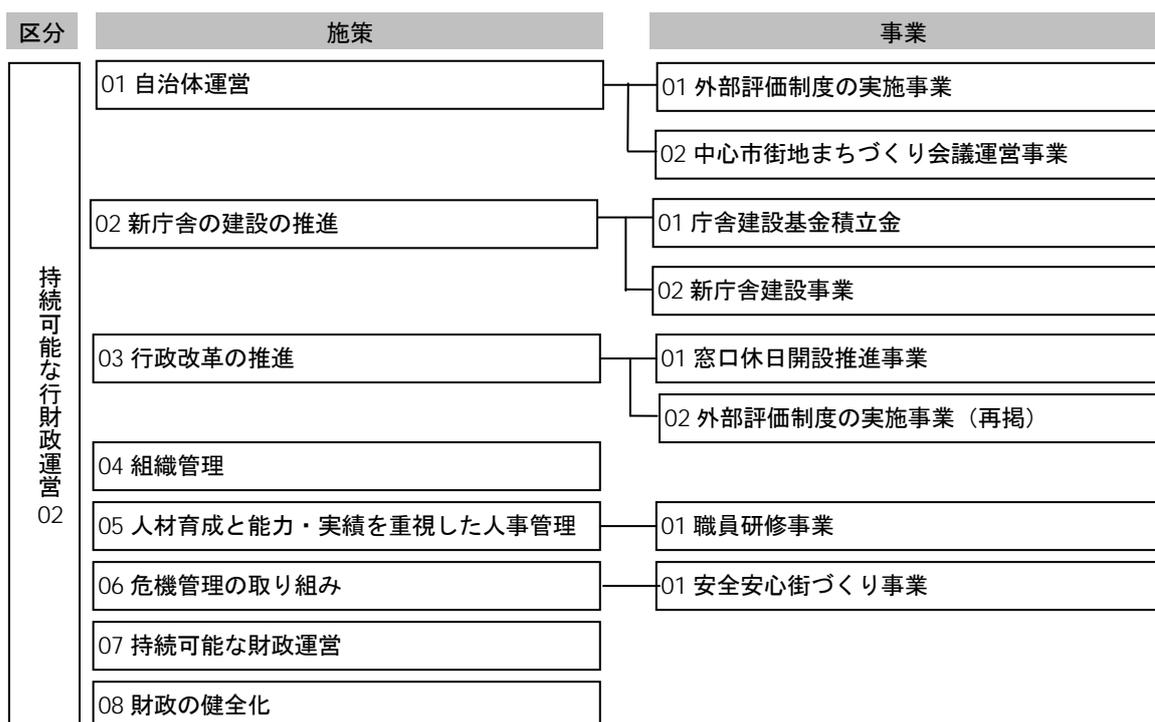
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
情報発信回数 (回)	353,951	382,464	382,466	382,466	382,466	382,466
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	64,773		64,208	82,218	62,328	

2 持続可能な行財政運営

施策の基本的考え方

- 本格的な地方分権時代を迎えるなかで、自主的かつ自立的な自治体運営に努め、市民の視点から行政サービスを再構築し、個性豊で、活力に満ちた市民本位の行政運営に努めます。
- 評価システムを活用し、Plan（計画）－DO（実施）－Check（評価）－Action（行動）のマネジメントサイクル*に従い進行管理を行い、評価結果をもとに施策・事業の重点化を図ります。
- 市民サービスの向上を図るため、分散化した機能を一体化し、またユニバーサルデザイン*の概念を取り入れ、心の通った「新甲府市」の象徴となる新庁舎建設の推進に努めます。
さらに、市民の生命・財産を守るために、防災及び災害時における拠点施設としての防災機能を併せ持った新庁舎を目指します。
この新庁舎の実現により、多様化・高度化する市民ニーズへの迅速で組織横断的な対応を可能とし、さらなる柔軟性の高い行政の推進を図ります。
- 従来の行政が行う市民へのサービス提供の役割を分担し協働を進めるとともに、新たな視点による施策・事業の選択や見直し、事務の効率化、組織体制の改革により、行政改革の推進を図ります。
- 市民本位の市政を推進するため、少数精鋭による職員定数の管理に努めるとともに、簡素で、効率的な組織機構の構築に取り組みます。
- 職員の資質と能力の向上を図る積極的な人材育成に取り組むとともに、適正な人事評価に基づく能力・実績を重視した人事管理を推進します。
- 街の安全が脅かされ市民生活における不安感が増す傾向にあるなか、関係機関との連携強化を図り安全安心街づくりを推進します。
- 突発的または予想外の災害などに対して、迅速かつ的確に対応できる庁内体制の整備を図ります。
- 財政計画とマネジメントサイクル*との整合性を図り、歳入を基軸とする予算編成を行います。
- 財政基盤を強化するため、市税等の徴収率向上を図るなど自主財源の安定的な確保や、財源の重点的、効率的な活用により、財政の健全化を図ります。

施策・事業の体系



*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 自治体運営

■外部評価制度の実施事業 【事業No.06020101】	担当部課係名	企画部	行政改革推進課	ダイヤル	237-5293
			行政改革係		

事業概要

- 限られた経営資源の効率的かつ効果的な活用による質の高い市民サービスの提供と経費などに対する職員の意識改革を図ることを目的として実施している事業評価制度に、市民・専門家を含めた第三者の視点を入れ、評価の客観性や透明性を高め、行政内部に限ることない多角的な評価を行う。

現況と課題

- 評価者に対し、事業内容の理解を深めるために必要なわかりやすい表現を用いた概要説明資料等の改善が必要である。
- 多くの市民の関心を集める情報発信が必要である。

今後の事業展開

- 現在実施している「事業仕分け」については、計画どおり平成22年度まで実施し総括する。また、「事業仕分け」の理念や手法を用いた新たな外部評価制度の研究、開発を行い、職員の意識改革や市民参加の仕組みを構築し、更なる事務事業改善の一助とする。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
事業評価数	35	100	50	—	—		50
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	776		651	393	393	1,437	

■中心市街地まちづくり会議運営事業 【事業No.06020102】	担当部課係名	企画部	中心市街地振興課	ダイヤル	237-5319
			計画係		

事業概要

- 市民参加による会議を設置し、中心市街地活性化基本計画の評価、検証及びフォローアップ、さらには、中心市街地のまちづくり及び活性化の継続的な検証を行いながら、具体的な事業提案への進展も目指していく。

現況と課題

- 会議の開催にあたっては、委員が参画と協働のまちづくりを実感できるよう心掛けているが、「まちづくり」に対する評価・検証は広範囲に亘っているため、事業の目的達成に向けた優先度、重要度を十分勘案する中で予めテーマを絞る等、創意工夫が必要である。

今後の事業展開

- 当該会議の設置については、甲府市中心市街地活性化基本計画策定委員会から強く要望されていたものであり、会議開催の際も、委員相互の活発な意見交換がなされている。今後においても、事業目的を十分に果たせるよう会議運営を行っていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
甲府市中心市街地活性化基本計画の検証及び新規事業提案等の提言	—	1	1	1	1		3
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	175		205	205	205	615	

02 新庁舎の建設の推進

■庁舎建設基金積立金 【事業No.06020201】	担当部課係名	庁舎建設部	総務課・建設課	ダイヤル	237-5651
			庶務係・建設係		

事業概要

- 老朽化、狭隘化、分散化が進む現庁舎の状況を改善し、市民サービスの一層の向上や防災拠点機能の充実・強化を図るなどの観点から、新たな庁舎を建設するため、積立金額 26 億円を目標に基金の積み立てを行う。

現況と課題

- 決算状況などを見据える中で基金の積み増しを検討していく。

今後の事業展開

- 平成 22 年度まで計画的に基金の積み立てを行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
庁舎建設基金積立金	平成 20 年度 2,172,738	平成 21 年度 2,377,185	平成 22 年度 2,600,935	平成 23 年度 —	平成 24 年度 —	2,600,935
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	204,858		223,752	—	—	

■新庁舎建設事業 【事業No.06020202】	担当部課係名	庁舎建設部	総務課・建設課	ダイヤル	237-5651
			庶務係・建設係		

事業概要

- 老朽化、狭隘化、分散化が進む現庁舎の状況を改善し、市民サービスの一層の向上や防災拠点機能の充実・強化を図るなどの観点から、新たな庁舎を建設する。

現況と課題

- 本事業においては、公募型プロポーザル方式*で選定した基本設計者と協議を行い、これまでに策定した「新庁舎建設基本構想」及び「新庁舎建設基本計画*」に基づき、新庁舎建設設計に係る有識者懇話会、新庁舎基本設計市民ワークショップ及び市議会等からもご意見をいただく中で、基本設計を作成した。

今後の事業展開

- 平成 25 年 5 月の新庁舎供用開始を目標に、市民自治の拠点として、市民に開かれ、市民が誇れる庁舎を目指し、ソフト・ハード両面の充実に向け、建設を進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
①基本設計及び②実施設計の作成、③建設工事の進捗(%)	平成 20 年度	平成 21 年度 ① 100	平成 22 年度 ② 100	平成 23 年度 ③ 30	平成 24 年度 ③ 65	① 100 ② 100 ③ 095
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	482,039		571,735	3,304,668	6,237,978	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 行政改革の推進

■窓口休日開設推進事業 【事業No.06020301】	担当部課係名	企画部	行政改革推進課	ダイヤル	237-5741
			行政改革係		

事業概要

- 働く人や生活者のリズムに合わせた行政サービスの展開として、週休二日制の浸透などによる市民生活のリズムと市役所の業務時間のズレを解消し、生活者本位のサービスの実現を図るとともに、市役所も中心市街地で行政サービスを提出する一店舗であるとの認識に立ち、中心商店街に賑わいを呼び込む一助として貢献できるよう、日曜窓口を開設している。

現況と課題

- 市民サービスと費用対効果の観点から利用実態に即した業務内容等の検証と検討が必要である。
- 医療費助成の償還払いの期限が平成21年度までのため、来庁舎数が減少すると思われる。

今後の事業展開

- 市民サービスの観点から、仮庁舎での業務時期や新庁舎建設を踏まえ、市民ニーズと利用実態を検証しながら推進していく。

成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値(H22~24)		
来庁者延べ人数	21,164	21,000	18,500	18,000	18,000	18,000		
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計(H22~24)		
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	0		0	0	0	0		

■外部評価制度の実施事業 【事業No.06020302←06020101】再掲	担当部課係名	企画部	行政改革推進課	ダイヤル	237-5293
			行政改革係		

05 人材育成と能力・実績を重視した人事管理

■職員研修事業 【事業No.06020501】	担当部課係名	総務部	研修厚生課	ダイヤル	227-5293
			研修係		

事業概要

- 分権型社会の進展する中、新たな行政課題に的確かつ柔軟に対応するとともに、直面する行政課題だけでなく、自らが課題を創造し、行動して成果を挙げていく高い能力や専門知識を身につけ、積極的に職務に取り組む意欲を持った職員の育成に努める。また、「日本一親切・丁寧で明るい市役所」を目指すための職員の意識改革を行う。

現況と課題

- 行財政改革に伴い職員定数の適正化が進められる中、いかに業務の効率化を図り、人材育成に費やす時間や労力を生み出すかが大きな課題となっている。

今後の事業展開

- 平成19年度に策定した「人材育成実施計画」を基に、人材育成を支援する各種制度を計画的に整備する。
- 平成19年度から実施した「部局テーマ別職場研修」を引き続き実施し、職場でのコミュニケーションの活性化や職場における課題の共有化を図りつつ、「学ぶ組織」の風土づくりを進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
部局テーマ別職場研修 開催数	124	123	123	123	123	369
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	13,277		12,446	12,446	12,446	

06 危機管理の取り組み

■安全安心街づくり事業 【事業No.06020601】	担当部課係名	企画部	危機管理課	ダイヤル	237-5247
			危機管理係		

事業概要

- 市民の自主防犯意識の向上と安全で安心できる地域社会の実現。
- 市民の健康を守り、安全安心を確保するため、新型インフルエンザの発生に備え、予防対策等を講じる。

現況と課題

- 安心して暮らすことのできるまちづくりは、市民一人ひとりが地域の安全に関心を持ち、「地域の安全は地域で守る」という自主防犯意識を共有させ、地域の連帯感を深め、地域安全活動への参加等を促進させる必要がある。
- 新型インフルエンザの流行に備え、甲府市新型インフルエンザ対策行動計画及び事務マニュアルの周知・徹底を図り、職員一人ひとりが迅速・的確な行動が取れるよう対策を講じる必要がある。

今後の事業展開

- 関係機関との連携を一層強化するとともに、地域における自主防犯団体リーダーを対象とした研修会や広報こうふ等を活用して情報提供を行い、地域防犯意識の向上と自主防犯活動機運の高揚醸成に努める。
- 緊急時に備え、職員の定期的な普通救命講習の再講習の実施。
- 市民への新型インフルエンザ予防対策の周知・徹底及び予防対策商品等の備蓄。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
市内における刑法犯 認知件数	2,385	2,600	2,400	2,300	2,200	2,200
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	8,982		14,170	14,170	14,170	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

3 地方分権への対応

施策の基本的考え方

- 甲府盆地一帯の広域的地域連携を担う責任自治体として、盆地の一体的な発展と自主・自立した自治体をめざし、中核市*の実現に向けた取り組みを進めます。
- 福祉・生活環境・文化教育、防災などの広域的な行政課題について、行政サービスが総合的、一元的に提供され行政サービスの水準の向上が図られるよう条件整備を進めます。
- 県内外との交流連携を促進し、多様な分野での地域の活性化を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地方分権への対応 03	01 中核市構想の推進	01 中核市構想推進事業
	02 広域行政の推進	
	03 地域連携の推進	

01 中核市構想の推進

■中核市構想推進事業 【事業No.06030101】	担当部課係名	企画部	政策課	ダイヤル	237-5289
			広域行政係		

事業概要

- 地方分権の進展や生活圏の広域化、少子高齢化等の経済社会情勢の変化に対応していくため、より一層の効果的かつ効率的な行財政運営を行わなければならない。中核市構想は市町村合併による一つの構想であり、スケールメリットを活かした地域全体の均衡ある発展と都市基盤強化を図ることを目的とし推進する事業である。

現況と課題

- 現在、平成の大合併がひと段落し、周辺地域は合併後の新たな枠組みの中で新市建設計画に基づくまちづくりに取り組んでいる状況にある。また、国の政権交代により地方分権が加速する中、自己決定・自己責任の原則に基づき、地方自治体の行財政基盤強化が求められている。

今後の事業展開

- 甲府地区、東八代の広域行政事務組合など周辺市町との共同・連携事業などを通じ、地域全体が一体となった取組みを推進する中で、将来、求められる地方自治体の都市増の一つとなる中核市の重要性を引き続き呼びかけていくとともに、県都として活力と魅力あるまちづくりを進め、中核市構想推進に向けた市民、周辺住民の機運の醸成に努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22~24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
—	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	265		100	100	100	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。